

サント

低品位タンタル回収強化

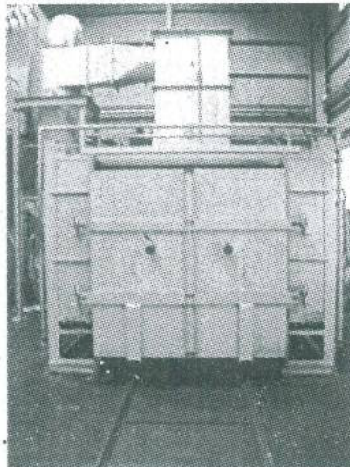
価格上昇、採算ラインに

サント(東京都江東区)は、低品位タンタルの回収事業を強化する。表面弾性波(SAW)フィルター、コンデンサー、半導体などの製造工程で発生する五酸化タンタルの含有率が10%以下の汚泥(フラッジ)は産廃処理されているが、同社は3年ほど前からリサイクル技術確立している。昨今、タンタル価格が上昇していることから、リサイクル技術を訴求していく。

五酸化タンタルを20%以上含む高品位タンタルのフラッジはすでにリサイクルの枠組みができてきているが、10%以下の低品位タンタルのフラッジは産廃処理されている。タンタル価格は今年2月から急上昇しており、リサイクルしたタンタルを使っても採算が合うことから、市場環境は



定置炉(下)で乾燥・焙焼処理したタンタルフラッジ



整っている。このため同社は、低品位タンタルの回収事業を本格的に展開

している。このため同社は、低品位タンタルの回収事業を本格的に展開

している。このため同社は、低品位タンタルの回収事業を本格的に展開

る。この前処理によって製錬しやすくなった原料を、海外で委託加工し高純度のタンタルにして売却するか、フラッジの仕入れ先である日本の顧客に戻してリサイクルする。日本はレアメタルの多くを輸入に頼っていることから、使用済みレアメ

タルのリサイクルによって国内資源循環を推進する必要がある。同社の静岡県内にあるグループ会社工場では、炭化タンクステンやメッキ由来のニッケルのフラッジの前処理を行っている。触媒に使用されるモリブデンの前処理もできる。

20年度売上高
5000億円めざす

シップヘルスケアHDが3力年中計

シップヘルスケアホールディングス(HD)は、2020年度を最終年度とする3力年の中期経営計画「SHIP VISION 2020」を策定した。20年度のグループ全体の目標として売上高5000億円、営業利益210億円を設定、いずれも過去最高を達成する計画としている。

新中計では、売上高1

価格面・数量面での安定供給体制を整えている。岩谷産業では「中長期的視点でみると東陽製品が有利」だとしている。

創業100周年記念感謝の集い開催
田淵海運

田淵海運は10月6日に創業100周年を迎えたことを記念し、9日午後6時から東京都港区のホ



あいさつする田淵社長

「これまで苦勞を共有してきた役員はもとより、船主の皆様、監督官庁のご指導、同業者を含む関係者の皆様、そして何より弊社を信頼して大切な荷物をお任せいただいた荷主・商社の皆様」の絶大なご協力があったからこそ本日100周年を迎えることができた。厚く御礼申し上げます。前社

岩谷産業 セシウム化合物拡販 中国品の安定調達力訴求

岩谷産業は、セシウム化合物の国内販売に力を注ぐ。同社は中国・江西

るセシウムは、自動車用熱交換器やエアコンのアルミニウム部材用フラッジ

有機合成で塩基として用いると反応が速くなった

有機合成で塩基として用いると反応が速くなった

有機合成で塩基として用いると反応が速くなった

ス社 ウ4 ハ4 桑名(三重)に物流施設

床面積約15万8000平方